

STAGE+を楽しむ(316)(HP 収載)
—ブラームスの弦楽四重奏曲第 1 番・第 2 番—

1. 始めに

前報(315)に引き続き、STAGE+のツェートマイアー・クアルテットによるブラームスの弦楽四重奏曲第 1 番と第 2 番の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(315)に引き続きツェートマイアー・クアルテットによるブラームスの弦楽四重奏曲第 1 番と第 2 番を選びました。

演奏:

ツェートマイアー・クアルテット

曲目:

ヨハネス・ブラームス

弦楽四重奏曲 第 1 番 ハ短調 作品 51 の 1

第 1 楽章: Allegro

第 2 楽章: Romanze. Poco adagio

第 3 楽章: Allegretto molto moderato e comodo -un poco piu animato

第 4 楽章: Allegro

ヨハネス・ブラームス

弦楽四重奏曲 第 2 番 イ短調 作品 51 の 2

第 1 楽章: Allegro non troppo

第 2 楽章: Andante moderato

第 3 楽章: Quasi menuetto. Moderato ? Allegretto vivace

第 4 楽章: Finale. Allegro non assai ? Pi? vivace



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、**LAN iPurifier Pro** の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の **Brooklyn DAC+** に送り出しています。

また、下記のとおり、PC と **Brooklyn DAC+** の間の介在は、**iPurifier USB** からインフラノイズの **USB アキュライザー** に交換しています。クロック入力には **ABS-7777** を適用しています。

2 曲とも、ブラームスの室内楽らしく、メランコリックなロマンチシズムの漂う曲です。

ツェートマイアー・クアルテットは初めて聴く四重奏団ですが、1997 年に結成された弦楽四重奏団で、ストイックなアプローチとして評価されています。

この演奏でも、抑制を効かせながらも緊張感ある演奏で、ブラームスのメランコリックロマンチシズムを表現しています。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや **Crystal EpY-G** や PC の仮想

アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、ツェートマイアー・クアルテットの抑制を効かせながらも緊張感あるブラームスを聴かせてくれました。

以上